

平成 2 2 年千葉市教育委員会会議  
第 3 回臨時会会議録

千葉市教育委員会

平成22年千葉市教育委員会会議第3回臨時会会議録

日時 平成22年8月4日(水)

午前10時開会

午後3時閉会

場所 教育委員会室

出席委員 委員 長 津田 英彦  
 委員 岩沼 静枝  
 委員 内山 英夫  
 委員 梅谷 忠勇  
 委員 和田 麻理  
 教育 長 志村 修

出席職員 教育次長 武田 昇 指導課主任指導主事 淺野 千秋  
 教育総務部長 西田 典夫 指導課主任指導主事 小高 正樹  
 学校教育部長 時田 猛 指導課主任指導主事 田島 治子  
 千葉高等学校長 布留川 厚 指導課指導主事 完倉 正子  
 稲毛高等学校長 奥山 慎一 指導課指導主事 飯田 良  
 総務課長 森島 俊之 指導課指導主事 秦野 雅美  
 学事課長 芝崎 易生 指導課指導主事 小坂 裕皇  
 指導課長 小寺 道明 指導課指導主事 大塚由美子  
 総務課総括主幹 大崎 賢一 指導課指導主事 小山 博  
 総務課主幹 川名 和弘 指導課指導主事 野口 洋子  
 学事課調整主幹 湯浅 忍 指導課指導主事 福田 寛  
 指導課主幹 沼倉 徹 保健体育課指導主事 古山 智和  
 指導課長補佐 鳥海 数憲

書記 総務課委員会係長 小池 正彰 総務課主査補 諏訪 瑞穂  
 総務課総務係長 小柳 寛 総務課主任主事 藤井 拓也

- 1 開会  
津田委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立  
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名  
津田委員長より梅谷委員を指名
- 4 会期の決定  
平成22年8月4日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定  
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 議事の概要
  - (1) 非公開事項の決定  
報告第14号を非公開審議とする旨決定
  - (2) 報告事項  
報告事項(1) 町の区域及び名称の変更に伴う規則の一部改正について  
学事課長より報告があった。
  - (3) 議決事項  
議案第40号 平成23年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について  
千葉高等学校長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。  
議案第41号 平成23年度使用千葉市立稲毛高等学校用教科用図書の採択について  
稲毛高等学校長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。  
議案第42号 平成23年度使用千葉市立小学校用教科用図書の採択について  
指導課長より説明があった後、審議。採決の結果、別紙のとおり採択することと決定した。  
議案第43号 平成23年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について  
指導課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
  - (4) 臨時代理報告  
報告第13号 懲戒処分の指針の一部改正について  
総務課長より報告があった。

## 報告第14号 職員の分限処分について

総務課長より報告があった。

### (5) 発言の要旨

報告事項(1) 町の区域及び名称の変更に伴う規則の一部改正について

津田委員長 学事課長、報告をお願いします。

学事課長 報告事項(1)「町の区域及び名称の変更に伴う規則の一部改正について」、報告します。

平成22年8月2日付で緑区土気町及び小食土町の各一部区域において、住居表示の変更が実施されました。別図1（変更前）と別図2（変更後）をご覧ください。「土気町の一部区域」が「あすみが丘東1丁目」に、「土気町および小食土町各一部区域」が「あすみが丘東2丁目」に、「土気町の一部区域」が「あすみが丘東3丁目」に、「土気町および小食土町各一部区域」が「あすみが丘東4丁目」と「あすみが丘東5丁目」にそれぞれ住居表示が変更されました。

この住居表示の実施に伴い、当該地区の表示をしている「千葉市立小学校、中学校及び特別支援学校の通学区域に関する規則」を一部改正しました。新旧対照表で説明します。

通学区域に関する規則（昭和44年千葉市教育委員会規則第1号）の一部について、別表第1、千葉市立土気南中学校の部、千葉市立土気南小学校の項中「小食土町の一部」を削除し、「4丁目1番地～38番地、5丁目1番地～42番地」を「4、5丁目（市立あすみが丘小学校通学区域を除く。）、あすみが丘東1、2丁目（市立あすみが丘小学校通学区域を除く。）」に改め、同表、千葉市立あすみが丘小学校の項中、「4丁目39番地、5丁目43番地～75番地、6丁目1番地～31番地、7丁目1番地～22番地、8丁目1番地～19番地、」を「4丁目の一部、5丁目の一部、6丁目の一部、7丁目の一部、8丁目の一部、あすみが丘東1丁目の一部、2丁目の一部、3～5丁目」に、「7丁目、8丁目、土気町の一部」を「7、8丁目、あすみが丘東4、5丁目」に表現の統一を図るとともに、それぞれ改め、同表、千葉市立大椎中学校の部、千葉市立大椎小学校の項中「市立土気南小学校」を削除し、「6丁目32番地～70番地、7丁目23番地～55番地、8丁目20番地～50番地」を「6～8丁目（市立あすみが丘小学校通学区域を除く。）」に改めました。さらに、別表第3中、「あすみが丘1～

9丁目」の次に「あすみが丘東1～5丁目」を加えました。

なお、今回の改正は、住居表示の変更に伴う表示の変更で、学校の位置や通学区域の実際の変更はありません。

議案第40号 平成23年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について

津田委員長 千葉高等学校長、説明をお願いします。

千葉高等学校長 議案第40号「平成23年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について」、説明します。

本校では、校長、教頭、教務主任、教務教科書係、各教科の教科用図書担当者からなる教科書選定委員会と教務部において、教科用図書選定の事務手続きを進めてきました。

5月7日に、「平成23年度高等学校教科書選定連絡協議会」が開催され、県教育委員会より教科用図書選定についての全体説明があり、本校からは教務主任が出席しています。その後、6月15日付け県教育委員会通知「平成23年度使用教科書の需要数の報告について」及び7月2日付け市教育委員会通知「平成23年度使用高等学校及び特別支援学校高等部用教科用図書の選定について」を受け、各教科における教科用図書選定に関する検討に入りました。各教科においては、本校の教育目標及び教科の指導目標等を鑑み、主たる教材として使用するに十分なものを吟味してきました。7月6日の教科用図書選定委員会において、各教科から出された選定理由を元に審議を行い、校長が総合的に判断し、次年度使用教科用図書の選定を行ったところです。

平成23年度に本校で使用する教科用図書の概要ですが、1年次普通科では、10教科16冊の教科用図書を使用し、そのうち4冊変更し、理数科においては、8教科18冊の教科用図書を使用し、そのうち4冊変更しました。2年次普通科では、6教科16冊の教科用図書を新たに購入することになり、そのうち、7冊が変更となっています。理数科においては、4教科15冊の教科用図書を新たに購入。8冊が変更となっています。3年次普通科では、6教科22冊、そのうち4冊が変更となっています。理数科においては、3教科6冊を購入することになり、そのうち1冊が変更となっています。いずれの教科用図書についても、内容や構成を慎重に比較検討した結果、本校生徒の指導により適していると判断し変更しました。

志村教育長 学校の特徴として理数科がありますが、特に理科、数学の教科用図書で特徴的なことはありますか。

千葉高等学校長 教科用図書については、理数科ということで特に差異を付けている部分はありませんが、「理数数学Ⅰ」は、1年次で数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの3冊の教科書を、理数科2年次の「理数数学Ⅱ」では、数学Bと数学Ⅲを併せて使用し授業を行っています。また、特徴的な科目については、学校設定科目という形で対応しているため、今回の一覧に含まれるものではありません。

岩沼委員 千葉高校には何度か伺っており、その時に、単位制が生徒の興味や目指す進路を見極めていく上でとても良いきっかけ、機会になっていると聞いています。単位制ということでラインナップが多い中で選定することは、かなりきめ細やかな、大変な作業だと思うので、現場の先生方が、生徒のために一番良いということで選定された教科書として賛成したいと考えます。

和田委員 英語の教科書が、学年によって出版社が異なっています。これは、1年次で使った出版社を2～3年次に継続して使うということのようですが、学年によって使用する出版社が異なるのは、年度ごとの選定作業において、最も適切と判断された出版社を選ぶことによって生じるのでしょうか。それとも、他に何か理由があるのでしょうか。

千葉高等学校長 英語科の教員が意見を出し合って最終的に決定します。1年次で使用した出版社の教科用図書を2年、3年と使用していきませんが、授業で使用していく中で、別の出版社の教科用図書の方が適切ではないか等の反省点が出ることで変更する場合があります。

議案第41号 平成23年度使用千葉市立稲毛高等学校用教科用図書の採択について

津田委員長 稲毛高等学校長、説明をお願いします。

稲毛高等学校長 議案第41号「平成23年度使用千葉市立稲毛高等学校用教科用図書の採択について」、説明します。

まず、教科用図書選定にあたっての基本的な考え方ですが、その内容が、本校の教育方針や教育目標に沿ったものであることとしたうえで、①生徒の学力に適応する内容や質であること、②基礎学力の定着及び学習意欲の高揚が図れること、③生徒一人ひとりの能力の伸長開発が図れること、これらを選定の観点としてきました。

次に、教科用図書の選定経過についてですが、本校では、よ

り適した教科用図書を慎重かつ公正に選定するため、年度当初より教科ごとに教科書選定委員を委嘱し、市教育委員会の教科用図書採択方針のもと調査を進め、7月2日付け「平成23年度使用高等学校及び特別支援学校高等部用教科用図書の選定について」の通知を受け、本年度の使用教科用図書と他の教科用図書を比較検討した結果等を踏まえて、各教科の教科会を経て、慎重に候補を選定しました。その上で、副校長、教頭及び各教科の教科書選定委員により構成される教科用図書選定委員会での審議を経て、校長が総合的に判断し、平成23年度使用教科書の選定を行ったところです。具体的な選定結果については、議案中に示したとおりですが、普通教育に関する10教科41冊、専門教育に関する3教科7冊に係るものです。

なお、本校の独自設定科目である、国際教養科の外国文芸、地域研究、専門科目である時事英語、ドイツ語、フランス語、中国語等で使用する準教科書については、教育委員会への届出等必要な手続きを経たうえで使用することとしています。

志村教育長 今年度、中高一貫校として初めての内進生が高等部1年生になったわけですが、夏休み前までの指導を終えたところで、教科用図書採択を考える上での、これまでと違うことがあれば示してください。内進生が入ったことで、教科用図書採択に何か影響はあったのでしょうか。

稲毛高等学校長 教科書採択に関しては特に影響はありませんでしたが、中高一貫教育ということで、中学校の時から先取り指導を行っている部分については副教材や副読本等を活用して指導しています。

議案第42号 平成23年度使用千葉市立小学校用教科用図書の採択について

津田委員長 議案第42号「平成23年度使用千葉市立小学校用教科用図書の採択について」ですが、先ず、「教科用図書選定委員会」の調査結果について、選定委員会委員長である教育次長、その概略の報告をお願いします。その後、選定結果についての説明を指導課長をお願いします。

なお、指導課長の説明の際、選定委員会の調査結果に基づき、優れていると認められた教科用図書2乃至3について、そして、特に優れている教科用図書として選定委員会が推薦するものを示しつつ、説明をお願いしたいと考えますが、委員の皆さん、よろしいでしょうか。（異議なし）

津田委員長 次に審議の順番ですが、事務局より、都合により「生活」から説明したい旨の申し出がありましたので、先ず、「生活」について審議し、以下、目録に記載されている種目順に審議したいと考えますがよろしいでしょうか。(異議なし)

津田委員長 それでは、教育次長及び指導課長、そのように説明をお願いします。

教育次長 議案第42号「平成23年度使用小学校用教科用図書の採択について」、私からは、これまでの教科用図書選定作業の概要について説明します。

6月16日の教育委員会会議第6回定例会で審議いただいた「平成23年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択方針」に基づき、6月28日に千葉市教科用図書選定委員会(以下、「選定委員会」という。)を設置しました。また、翌29日には教科ごとに専門調査員会を設置し、それぞれの教科用図書の調査研究を進めてきました。なお、専門調査員は、国語・社会・算数・理科については各5人、その他の教科については各3人を任命しました。その後、7月26日と28日に第2回及び第3回選定委員会を実施し、専門調査員会の調査結果の報告を受け、協議の上、選定結果をまとめました。その内容については、指導課長より説明します。

指導課長 本議案は、平成23年度使用千葉市立小学校用教科用図書の採択について、千葉市教育委員会組織規則第8条第9号の規定により議決を求めるものです。参考資料として、文部科学省発行の「小学校用教科書目録(平成23年度使用)」及び本市の教科用図書選定委員会で作成した「平成23年度使用教科用図書調査研究報告書」を添付しています。今回、採択をお願いする小学校用教科用図書は、「小学校用教科書目録(平成23年度使用)」に登載されている教科用図書で、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律により、平成23年度以降、使用されることになるものです。それでは、選定結果を報告します。

## 《生活》

指導課長 小学校生活科について報告します。選定委員会では専門調査員から以下の報告を受けました。調査研究報告書の37頁をご覧ください。

調査研究の観点の作成に際しては、以下の点を考慮しました。教育基本法の改正を受けて改訂された新学習指導要領では、



生活科の目標として、「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身につけさせ、自立への基礎を養う」と示されています。

本市児童の実態から、応用力・思考力のさらなる向上のため、思考・判断・表現力等を育む言語活動の充実及び今日的課題から、科学的な見方・考え方の基礎を養う学習活動の推進に配慮されている教科用図書が求められています。

調査研究報告書に基づき、各社の教科用図書について、その特徴を報告します。

「東京書籍株式会社（以下、「東京書籍」という。）」：「内容の観点（２）」継続的に繰り返しかかわる活動から構成されており、対象への愛着を持ち、気付きの質を高める優れた構成となっている。

「大日本図書株式会社（以下、「大日本図書」という。）」：「内容の観点（２）」色や言葉の効果により自然の変化に関心を高め、体全体を使つての豊かな活動や多様な表現活動を重視し、気付きの質を高め、科学的な見方・考え方の基礎を養うような活動を適切に配置している。「内容の観点（３）」繰り返し継続的に関わりながら学びを深める構成への配慮がよくなされている。「内容の観点（６）」「見つける→計画→活動→まとめる→伝える」と、課題解決学習を意識した学習の構成となっており、３年生以降へのつながりに配慮している。これらの点が特に優れています。

「学校図書株式会社（以下、「学校図書」という。）」：「内容の観点（３）」児童の思考の流れを考慮しており、具体的な活動ごとにまとまりを持たせた構成の仕方がよく工夫されている。

「教育出版株式会社（以下、「教育出版」という。）」：「内容の観点（２）」「見つける→比べる→たとえる」のような活動を繰り返し位置付けることで、気付きの質を高める適切な構成がなされている。

「社団法人 信濃教育会出版部（以下、「信濃教育出版」という。）」：「内容の観点（４）」豊かな自然や日常生活での事象を教材とし、体験を通して地域への愛着を育む構成がよく工夫されている。

「光村図書出版株式会社（以下、「光村図書」という。）」：「内

容の観点（２）」伝え合う活動や多様な表現活動を重視し、気付きの質を高める配慮が適切になされている。また、試行錯誤しながら科学的な見方・考え方の基礎を養う配慮が適切になされている。

「株式会社 新興出版社啓林館（以下、「啓林館」という。）」：「内容の観点（２）」言葉による表現方法や、伝え合う活動を随所に紹介し、言語活動の充実を図り、気付きの質の高まりを促すような構成の工夫がよくなされている。

「日本文教出版株式会社（以下、「日本文教出版」という。）」：「内容の観点（２）」活動後の振り返りを効果的に位置づけた学習の工夫や、多様なカードの活用により、気付きの質を高める工夫がよくなされている。

これらの特色を踏まえ、選定委員会で「大日本図書」、「光村図書」の２社、さらには、「東京書籍」や「日本文教出版」も良いとの推薦がありました。とりわけ「大日本図書」の教科用図書は、臨場感あふれる写真の効果や多様な活動の紹介により、児童の科学的なものの見方・考え方の基礎を養い、豊かに表現し、伝え合う活動を進めるため、本市の児童に最もふさわしいものとして推薦することとしました。

内 山 委 員 どの出版社も、大変楽しい内容となっていますが、「親しみやすさ」の観点からは、何か差がありましたか。

指 導 課 長 子どもの興味、関心を引き出すという意味では、身近な事象の取扱いがポイントとなります。例えば「大日本図書」は、「みんななかよし １年生のスタートだ」で、子どもたちにとって一番身近な家庭、家族の生活の様子を巻頭に置き、子どもにとって学びやすいところから学ばせることについて配慮されています。

梅 谷 委 員 「大日本図書」は、特に学習の連続性や自然とのかかわり等について、写真、説明文等、子どもにとって学びやすい配慮がされており、実際の生活での活動につながっているという説明でしたが、これについて、他の教科書ではどのような評価をされましたか。

指 導 課 長 「大日本図書」は、あらゆる視点から整理されて、子どもたちにとって、気付き、広がりや育まれ、深まるような内容となっています。また、「信濃教育出版」は、自然の不思議さ、おもしろさを実感できる内容となっており、動植物を扱うところに

特色があります。自然、家族、社会生活に関する内容については、各社工夫が凝らされています。

志村教育長 「大日本図書」、「光村図書」、「東京書籍」、「日本文教出版」のうち1社だけ大きさが違いますが、何か理由はあるのでしょうか。また、「東京書籍」には、巻末に「ポケット図鑑」という、切り離して使用する教材がありますが、児童が紛失したりする恐れはないでしょうか。2年間使用する教科用図書として、教員にとっても、このように切り取る教材は、教えやすい、扱いやすいものとなるのでしょうか。

大塚指導主事 大判の教科書は、紙面にゆとりがあり、見やすいということから低学年の児童には効果があると思います。特に、入学当初の児童にとっては、絵本のような要素が含まれており、安心して学校生活に入っていくきっかけにもなります。また、「ポケット図鑑」のような教材は、別冊で用意している出版社もありますが、低学年の児童にとっては、冊数が増えることよりも、教科書の中に含まれている方が扱いやすいとの報告もなされています。

津田委員長 各社、工夫がなされているようですが、私は「大日本図書」が読みやすく、子どもの興味を引きやすいのではないかと感じています。

和田委員 子どもの気付きを促すということがキーワードになっているようですが、特に低学年の児童は、写真や絵など、画像に関するものが先ず目に飛び込んでくるのではないのでしょうか。「大日本図書」は、写真にある子どもの表情でも、児童に気づきを促すような表情が多様に盛り込まれていると思いました。また、季節感についても「大日本図書」が優れているとのことでした。同社は、春夏秋冬が、指導する時期に合わせて出てきているようですが、一方「光村図書」は、上巻44ページから「きせつとあそぼう」として、ひとつの単元で一度に四季が出てくるような構成になっています。例えば「光村図書」を使用した場合、指導にどのような工夫が想定されますか。

大塚指導主事 生活科では季節感がとても大事になります。季節を追って、例えば秋であれば秋の季節感を味わいながら活動を広げていくことが大事です。一方、四季それぞれの季節を比較して意識するというのも大事であり、その意味では「光村図書」は、四季を比較して振り返ることに大変役立つものと思います。また、

「大日本図書」については、上巻70ページからの「秋の活動」で、季節感を味わった上で、秋の植物等を使った遊びに発展させ、さらに、その遊びを幼稚園など身近なところで知らせるといった「伝え合う活動」まで関連してページに掲載されており、教員としても扱いやすいとの報告がなされています。

津田委員長 討論を終結し採択を行います。これまでの意見をまとめますと、平成23年度に本市立小学校で使用する「生活」の教科用図書には、「たのしいせいかつ 大日本図書株式会社」を採択することが適当と認めますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

津田委員長 異議ないようですので、平成23年度に本市立小学校で使用する「生活」の教科用図書は、「たのしいせいかつ 大日本図書株式会社」と決定しました。

## 《国語》

指導課長 小学校国語科について報告します。

調査研究の観点の作成に際しては、以下の点を考慮しました。教育基本法の改正を受けて改訂された新学習指導要領では、国語科の目標として、「国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる」としています。

本市の児童は、学力状況調査の結果から「読むこと」の能力についてはこれまでの指導が功を奏し、力がついてきたものの、「書くこと」において、相手や目的に応じて自分の考えや思いを書いたりすることが課題とされています。また、「言語事項」の中の、漢字の書きについても課題が見られます。

そこで、児童の主体的な学習を促す学習方法が示されているか。言語能力が調和的に養えるよう、発達段階を考慮し児童の興味・関心・能力に適合したものであるか。学びの基礎となる国語力の向上を図り、読書に親しませ、学びへの動機付けと幅広い知識の習得に向け、図書館等の活用を促すよう配慮されているか。また、新学習指導要領で新たに示された「言語活動の充実」や「伝統や文化に関する教育の充実」を図ることができるような内容が適切に配列されているかとの視点で作成しました。

調査研究報告書に基づき、各社の教科用図書についてその特色を報告します。

「東京書籍」：「内容の観点（7）」補充・発展的な学習が行な

われるようよく考慮した配置となっている。

「学校図書」：「組織・配列の観点（１）」全学年、同時期に同じ領域の単元が配置され、系統的に学習できるようよく配慮されており、学び方の習得を重視した配置となっている。

「三省堂」：「内容の観点（１）」題材同士の連続性を特に考慮して構成されている。辞書の活用が系統的に学習できるような構成になっている。

「教育出版」：「内容の観点（１）」言語能力が調和的に養えるよう、習得・活用から思考力・判断力・表現力を高めることに配慮し、特に優れた単元構成になっている。「内容の観点（４）」地域に根ざした特色ある話題や題材から学習できるよう適切に題材が配置されている。「組織・配列の観点（３）」めあてや具体的な学び方を明示し、児童が主体的に学べるような工夫が優れている。

「光村図書」：「内容の観点（５）」日本の伝統的な言語文化や四季が感じられるよう題材が系統的に配置されている。「表現の観点（２）」表記・表現は正確、写真・挿絵・図表等の資料も色彩豊かで、理解を助けるよう良く配慮されている。

これらの特色を踏まえ、選定委員会で協議の結果、「教育出版」と「光村図書」の２社、とりわけ「教育出版」が、各教科の基礎となる言語能力が調和的に養えるよう習得、活用から思考力、判断力、表現力を高めることに配慮し、特に優れた単元構成になっており、学び方のモデルを示すなど児童が主体的に学べるような工夫がされている点で、本市の児童に最もふさわしいものとして推薦します。

和田委員 大多数の出版社が６年生まで上下分冊になっていますが、上下巻になっていない「光村図書」の５年生用、６年生用、「三省堂」の２年生以降の教科用図書はかなりの厚さになっています。子どもの持ち運びの負担の他、上下分冊となっていることの指導面でのメリット、デメリットはどのようなことがありますか。

完倉指導主事 全学年が上下巻に分かれている出版社は、「東京書籍」、「学校図書」、「教育出版」ですが、メリットは持ち歩きやすいこと、本市で実施している学校２学期制により、上下巻の入れ替わり時期と学期の変わり目が重なっていること。デメリットは、１年間の見通しや振り返りのために、もう１冊を持参する必要

があること等が挙げられます。合本は「光村図書」が5・6年、「三省堂」は国語の教科書と言葉の教科書となっていますが、メリットは、1年間の見通しや振り返りができること、デメリットは持ち運びの負担、学校の机に収まりきれない場合があること等です。これらのことから、分冊の方が良いとする報告がありました。

内山委員 「教育出版」と「光村図書」については、どちらも良い題材を配置していると思います。例えば6年生で取り上げている題材を見ると、「教育出版」の「迷う」、「子供たちを救いたい」、「光村図書」の「カレーライス」、「海の命」等が特に印象に残りました。

梅谷委員 「教育出版」と「光村図書」について、「日本の伝統文化への理解」をどのように取り上げていて、それをどう評価したのか示してください。また、どちらも、子どもが自ら主体的に学ぶために、題材の最後に学習のポイントを確認する箇所が設けられています。今、5年生の教科書を見ていますが、設問や、児童にどのようなことを学ばせようとするかについて若干差異があるように感じますが、このことについてはどのように評価したのでしょうか。

完倉指導主事 伝統文化に関してですが、「光村図書」は3年生上巻48ページ、4年生上巻58ページ、「教育出版」は3年生上巻60ページ、4年生上巻60ページで説明します。「光村図書」は、「声に出して楽しもう」という題材で、短歌、俳句を音読し、暗唱する教材となっており、声に出して読むことで日本語の響きやリズムを体で感じさせようとする工夫が見られます。「教育出版」は、「日本語のひびきにふれる」の単元で、3年生は「俳句に親しむ」、4年生は「短歌の世界」という題材で、俳句や短歌を解説する文や写真資料から、俳句、短歌の基礎的知識の習得を図り、その上で日本語の響きやリズムを声に出して感じさせようとする工夫が見られます。さらに、「俳句・短歌を作ってみよう」という言語活動が展開されています。どちらも良く工夫されていますが、「教育出版」の方が、作品の理解を助ける説明が丁寧になされ、資料も活用しやすくまとめられており、基礎的知識の習得から、自分の思いや考えを表現し伝え合うという学習過程により、表現力を育成させていく上でふさわしいとの報告がされています。

指導課長 両者とも、5年生で「大造じいさんとガン」を教材として取り上げていますが、「光村図書」は、題材文を読んだ後、「朗読で表現しよう」という学習が設定されています。一方、「教育出版」は、題材を読んだ後、中心人物の生き方について自分が考えたことをノートに書くという学習が設定されています。どちらも、よく工夫されていますが、同じ教材の扱い方で比較をすると、本市の子どもたちには、自分の考えや思いを「書く」ことに課題があることから、「教育出版」の方がよりふさわしいとの報告を受けています。また、挿絵の装丁や題名についても、「教育出版」の方がよりふさわしいとの報告を受けています。

志村教育長 伝統文化についてですが、低学年で神話を扱うということがあったと思いますが、どのような扱いになっていますか。

完倉指導主事 「教育出版」の2年生上巻56ページ、「光村図書」の2年生上巻36ページで、古事記の「いなばの白うさぎ」が載っています。「光村図書」では、「先生に読んでもらってお話を楽しみましょう。」、「だれが何をしたか、みんなで話しましょう。」という学習内容となっています。一方、「教育出版」では、古事記に載っている話であることが示され、さらに、「おもしろかったところを話し合いましょう。」、「自分の住んでいる地域に伝わる話を探して発表しましょう。」として、今後の学習の広がり、深まりや児童の興味関心を喚起させる学習の流れになっており、選定委員会では、神話の取扱いについてはこの点で教育出版がふさわしいと報告しています。

和田委員 これまでの説明から、本市では「書く」ことに課題があるようですが、そこを考えると、「教育出版」は言葉に関する取り組み方、掘り下げ方が深く、子どもたちに言葉に興味を持たせたり、書くことで国語という教科に興味を持たせる視点で優れていると思います。「光村図書」は、古今東西の教材がバランスよく配置されており、中学年以降では暗誦したり、音読したりする教材が多く含まれていることから、日本語の言葉のリズム、音感の面から言葉を捉えるということでは優れていると思いますが、トータルでは「教育出版」がふさわしいと考えます。

津田委員長 討論を終結し採択を行います。これまでの意見をまとめますと、平成23年度に本市立小学校で使用する「国語」の教科用図書には、「ひろがる言葉 小学国語 教育出版株式会社」を採択することが適当と認めますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

津田委員長 異議ないようですので、平成23年度に、本市立小学校で使用する「国語」の教科用図書は、「ひろがる言葉 小学国語 教育出版株式会社」と決定しました。

## 《書写》

指導課長 小学校国語科書写について報告します。

調査研究の観点の作成に際しては、以下の点を考慮しました。教育基本法の改正を受けて改訂された新学習指導要領では、国語科書写の目標として「国語を正しく理解し使用する力を身につけるために『正しく整った文字を書く』こと」と示しております。また、国語科改訂の要点においても、書写の指導として、手紙を書いたり記録をとったりするなど、日常生活や学習活動に役立つような文字指導の内容の改善が求められており、児童が文字文化に親しみつつ、日常生活の中で正しく整った文字を書くためにはどうしたらよいかを「自ら考え、自ら学ぶ力」を育むことができる教科書が求められています。

調査研究報告書に基づき、各社の教科用図書についてその特色を報告します。

「東京書籍」：「内容の観点（3）」イラストや写真を用いて分かりやすく解説しているところなどは、硬筆・毛筆ともに入門期の学習が円滑に進むよう工夫され、発達の段階に応じた内容によく配慮している。「内容の観点（5）」書写学習への興味・関心を高め、理解を深めるために、コラム教材や体験型学習方法を取り上げ、内容がよく充実している。

「学校図書」：「造本の観点（2）」毛筆学習の手本を見ると、5つの教材が半紙原寸サイズで、大きさや位置を視覚的に理解しやすいように提示しており、これは他社には見られない優れた点である。

「株式会社 三省堂（以下、「三省堂」という。）」：「内容の観点（5）」キャッチフレーズを用いることで、毛筆教材での学習のポイントを的確にとらえ、硬筆に生かすことを中心に、内容がよく充実している。

「教育出版」：「内容の観点（2）」「学習の進め方」の流れに沿って学習を進めていくことや、文字の書き出しを1～4までの部屋を使用して説明している点は、児童が自らの判断で主体的に学習を進められるよう工夫されており、これは本市の教育施策によく適合しているといえる。「内容の観点（5）」豊富な



文字資料が用意されており、児童が文字意識を高め文字文化に親しみつつ、書写力の定着、補充、発展に応えられる内容が充実しているといえる。「組織・配列の観点（１）」毛筆入門期の３年生にとって、基本的事項を重視しながら、段階的・発展的な学習ができるようによく配慮されている。

「光村図書」：「組織・配列の観点（１）」３年生以上の毛筆教材で２４時間から３０時間、硬筆教材で５時間から６時間、合計３０時間から３５時間と、児童や学校の実態に考慮し、柔軟な年間指導計画への対応によく配慮している。

「日本文教出版」：「内容の観点（７）」日常生活に生かす活動や伝統文化への興味・関心を図ることで、発展的学習への対応をよく配慮している。

これらの特色を踏まえ、選定委員会で協議の結果、「東京書籍」、「教育出版」の２社、とりわけ「教育出版」は、教材が系統的、段階的に配置されており、「自ら考えて学び、正しく整った文字を書く力」を育成するための学習の仕方を身につけていくことが可能であると考え、本市の児童に最もふさわしいものとして推薦することとなりました。

和田委員 手本の位置が、右ページで固定しているもの、左右のページにまちまちに配置されているものとありますが、実際の指導の中での使い勝手はどうなのでしょう。また、国語の教科用図書と同じ発行者であった方が指導しやすいのでしょうか。

飯田指導主事 手本の位置についてですが、「東京書籍」の３年生１０、１１ページ、「教育出版」の３年生１２、１３ページで比較します。

「東京書籍」は、右ページの課題に対する解説の後、左ページの手本を見て実際に書くという流れ。「教育出版」は、右ページに手本があり、書いた文字と比較して、どこがどのように違うのか意識したうえで解説、説明を見る形になっています。どちらも特徴がありますが、「考えさせる」ということを意識した場合、「教育出版」の方がふさわしいという報告がありました。国語の教科用図書との関連性についてですが、新学習指導要領において、「毛筆は硬筆による書写の能力を養う」、「毛筆が日常生活や学習に生きる」ということを目標にされていることから考えると、国語と書写の教科用図書は関連していた方が、より効果的な学習ができるとの報告を受けています。

津田委員長 討論を終結し、採択を行います。これまでの意見をまとめま

すと、平成23年度に、本市立小学校で使用する「書写」の教科用図書には、「小学書写 教育出版株式会社」を採択することが適当と認めますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

津田委員長 異議ないようですので、平成23年度に本市立小学校で使用する「書写」の教科用図書は、「小学書写 教育出版株式会社」と決定しました。

## 《社会》

指導課長 小学校社会科について報告します。

調査研究の観点の作成に際しては、以下の点を考慮しました。

教育基本法の改正を受けて改訂された新学習指導要領では、社会科の目標として「社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」と示しておりますが、千葉県学力状況調査の報告書によると、本市児童は知識・理解については秀でているものの、3年生では「関連的な思考」、5年生では「社会的な思考・判断の能力」に課題があることが指摘されています。そこで、児童の意欲的な学習や、思考力・判断力・表現力の育成に配慮されている教科用図書が求められています。

調査研究報告書に基づき、各社の教科用図書についてその特色を報告します。

「東京書籍」：「内容の観点（2）」基礎的な用語を適切に配置し、確かな学力が育まれるよう、よく配慮されている。「内容の観点（3）」児童が問題意識をもち、主体的に学習が進められるようになっており、思考力・判断力・表現力が育まれるよう、よく配慮されている。「組織・配列の観点（3）」様々な表現方法を紹介するとともに言語活動の充実に、よく配慮している。

「教育出版」：「内容の観点（3）」児童が問題意識をもち、意欲的に追究できるよう工夫しているとともに、思考力・判断力・表現力が育まれるよう、よく配慮されている。「組織・配列の観点（3）」様々な表現活動を紹介し言語活動の充実に、よく配慮されている。

「光村図書」：「組織・配列の観点（2）」学習問題や次時への問題意識などを板書や児童のノート事例として示し、問いと気づきをつなぐ学習展開になるよう、よく配慮されている。

「日本文教出版 小学社会」：「内容の観点（3）」児童の学習

意欲を高めるための工夫がされ、思考力・判断力・表現力が育成できるように、よく配慮されている。

「日本文教出版 小学生の社会」：「組織・配列の観点（３）」様々な表現方法によるまとめ方の例を紹介し、言語活動の充実によく配慮されている。

これらの特色を踏まえ、選定委員会で協議の結果、「東京書籍」、「教育出版」の２社、とりわけ「東京書籍」は、問題解決能力育成の視点で内容が構成され、発達段階に則して、児童自ら、主体的に学び、思考力・判断力・表現力を高めていくことが可能であると考え、本市の児童に最もふさわしいものとして推薦します。

梅谷委員 「東京書籍」、「教育出版」ともに、図表や写真はかなりの量が配置されており、認知して理解する力の育成につながると思いますが、それについてどのように評価したのでしょうか。

秦野指導主事 両者の特徴がよく出ている、「東京書籍」の５年生上巻３０ページと「教育出版」の５年生上巻１３０ページで比較します。

「教育出版」は、自動車産業を窓口にしなが、貿易を学んでいきます。「東京書籍」は、学習課程に沿って、豊富な資料を用いながら丁寧に学習を進めていくという特徴があります。

指導課長 東京書籍は、子どもたちの「つかむ→調べる→まとめる」といった学びの過程に沿いながら、写真や資料が配置されており、文章による理解とともに、資料や写真が適切に配置されている点で特色があると思います。

津田委員長 「社会」は、扱う範囲が非常に幅広く、様々な内容がありますが、自分の国について歴史等を理解して、児童が愛情を持てるように進めていかなければならないと思います。その取り上げ方について差異はありますか。

指導課長 「郷土と国を愛する心」という観点からは、「日本と世界の国とのつながり」で登場する国歌や国旗の取扱いで比較します。「東京書籍」の６年生下巻７２、７３ページ、「教育出版」の６年生下巻６０、６１ページです。取り扱いについては、他の３者を含めて大きな違いはありませんが、「東京書籍」と「教育出版」はとりわけ丁寧に取り上げているとの報告を受けています。特に「東京書籍」は、国旗、国歌の成り立ちにも触れており、伝統と文化を尊重するという観点からもよく工夫されているとの報告を受けています。

岩 沼 委 員 新しい学習指導要領にある「～我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て～」を受けて各出版社の教科用図書を見ると、今までと書き方のトーンも違ってきているように感じました。やはり新しい学習指導要領を読み込んだの執筆だと思います。自国に愛情を持つことに関しては、本日これまでに「国語」で伝統文化、「社会」で国旗、国歌について、説明いただきましたが、その他にも、やはり自国の歴史に愛情を持つかどうかということになると、その歴史を作ってきた人物に愛情を持てるかということが大きなキーになってくると思いますので、日本人の素晴らしいところ、世界に誇れるところを表すような人物の取り上げ方について各社の比較を示してください。

指 導 課 長 「東京書籍」の6年生上巻26～29ページと、「教育出版」の6年生上巻20ページで比較します。「東京書籍」は、「天皇中心の国づくり」の単元で聖徳太子を取り上げており、人柄や考え方、果たした役割などを丁寧に説明しています。聖徳太子は他の教科用図書でも取り上げられていますが、「東京書籍」の説明が最も詳細です。例えば、「聖徳太子について調べたことをまとめてみました」の欄で、子どもたちが学習したことを踏まえながら聖徳太子についての丁寧な記述がなされており、子どもものの思考に沿いながらの取扱いで、優れた特色と考えます。

志村教育長 学習指導要領に沿って工夫された教科用図書になっているなと感じます。特に、「東京書籍」は6年生上巻99ページで会津若松の日新館を具体的に示すなど、これまで以上に広く深く扱ってきているように感じました。人物の扱いも、以前に比べて丁寧になってきており、それぞれに工夫されていますが、トータルで見ると「東京書籍」が良いと思います。

岩 沼 委 員 人物の取り上げ方について、副読本等で内容の補充をしていくなど立体的な考え方が、新しい教科用図書になって変わるようなことはありますか。

指 導 課 長 これまでも、教科用図書以外の資料集などで補充して、子どもたちが調べるなどしていました。人物の取り上げ方が、子ども視点に沿って、かなり丁寧になっていることが、今回採択する教科用図書で大きく変わっている点かと思いますが、資料集の取扱いについては大きな変更はないと考えています。また、中学年では、「地域の発展に尽くした人々」として副読本で学ぶところがあり、地域に対する愛情を育むことも、中学年から日

常指導でなされています。このことは、学習指導要領改訂後も同様に行っていきます。

津田委員長 歴史を学んでいく中で人物を具体的に紹介していくことは、子どもの興味を引き出すのに有効だと思います。

和田委員 「東京書籍」と「教育出版」を比べてみて、「教育出版」は「確かめ考える」として振り返りのコーナーが設けられています。「東京書籍」では、随所に「ことば」というコーナーを設け、そこで重要なキーワードについての説明がなされており、子どもたちの理解が進みやすく、ポイントも押さえやすいのではないかと思います。「東京書籍」は、全体的に補助的な教材が多く含まれていて情報量も多く、子どもが「社会」という教科に対して興味を持ったり、もっと学びたいという気持ちを起こさせるような内容になっており、教材として豊かなのではないかと思います。また、本筋とは関係ありませんが、「教育出版」の教科用図書に、キャラクターとしてオオサンショウウオが出てきます。水中の生物が立ちあがって、飛んだり跳ねたりしている絵が随所にあるのが、私としては非常に違和感を覚えます。生物に対する正確な知識という点からも、如何なものかと思えます。

津田委員長 討論を終結し採択を行います。これまでの意見をまとめますと、平成23年度に、本市立小学校で使用する「社会」の教科用図書には、「新しい社会 東京書籍株式会社」を採択することが適当と認めますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

津田委員長 異議ないようですので、平成23年度に、本市立小学校で使用する「社会」の教科用図書は、「新しい社会 東京書籍株式会社」と決定しました。

## 《地図》

指導課長 小学校地図について報告します。

調査研究の観点の作成に際しては、以下の点を考慮しました。

教育基本法の改正を受けて改訂された新学習指導要領の内容が適切に取り上げられていることはもちろんのことですが、地図指導を通して「課題に対応し、自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむための工夫がされているか。」また、学力状況調査の結果もふまえ「地図・その他の資料の比較や関連的な考察がしやすく、基本的な読図力を育てるように配慮されているか」という点を重視しました。

調査研究報告書に基づき、各社の教科用図書についてその特色を報告します。

「東京書籍」:「内容の観点(3)」ビジュアルな資料の組み合わせで興味・関心を持たせるとともに、読図や地図活用の手がかかりについて、よく工夫されている。「表現の観点(1)」紙面を横位置見開きに統一し、地図を見る観点等を各ページの同じ位置に表記して、よく工夫されている。

「株式会社 帝国書院(以下、「帝国書院」という。):「内容の観点(4)」細かな地形や土地利用の様子、また産業などが読み取れるよう、本市に隣接する大都市圏も取り上げられ、よく工夫されている。「組織・配列の観点(3)」児童自らが学び、発表したり話し合ったりしながら、写真から絵地図、そして平面図にスムーズに移行できるような構成で、よく工夫されている。「表現の観点(1)」全体図から地域の広がりに応じて、小さな縮尺の地図を配置し、多様な学習に対応する内容を盛り込むなど、よく工夫されている。

これらの特色を踏まえ、選定委員会で協議の結果、「帝国書院」が児童の発達段階に応じた興味・関心のもたせ方、児童の思考に応じた地図・その他の資料の配置、それぞれの学年に応じた活用や、他教科への学習の広がりにも活用しやすいと考え、本市の児童に最もふさわしいものとして推薦します。

和田委員 「東京書籍」の都道府県名表記が太字で小さめの文字になっており、少し見づらいつ感じます。また、地域の分け方ですが、「帝国書院」は馴染みのある北海道、東北地方といった分け方の地図が前半に配置されていますが、「東京書籍」はその分け方が、あまり馴染みのないようなところがあります。個人的な感覚かもしれませんが、「帝国書院」の方が、日本の国土を理解する上で親しみやすい地図なのではないかと思ひます。

津田委員長 討論を終結し採択を行います。これまでの意見をまとめますと、平成23年度に本市立小学校で使用する「地図」の教科用図書には、「楽しく学ぶ 小学生の地図帳 株式会社 帝国書院」を採択することが適当と認めますが、よろしいでしょうか。(異議なし)

津田委員長 異議ないようですので、平成23年度に、本市立小学校で使用する「地図」の教科用図書は、「楽しく学ぶ 小学生の地図帳 株式会社 帝国書院」と決定しました。

## 《算数》

指導課長 小学校算数科について報告します。

調査研究の観点の作成に際しては、以下の点を考慮しました。教育基本法、学校教育法の改正を受けて改訂された新学習指導要領では、算数科の目標として「算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち、筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。」と示されています。

千葉県学力状況調査の結果から、本市の児童は、知識・理解の習得に関しては秀でているものの、3年生、5年生ともに「数学的な考え方」に課題があることが指摘されています。そこで、児童の表現方法や言語活動に配慮し、自ら考え解決していけるよう配慮されている教科用図書が求められています。

調査研究報告書に基づき、各社の教科用図書について、その特色を報告します。

「東京書籍」：「内容の観点（3）」PISA型の問題を取り入れ、情報を読み取り、問題に的確に答えていくことで、思考力、判断力が育まれるよう配慮されている。「組織配列の観点（3）」：「問題解決学習の進め方」を吹き出しで扱い、学習の進め方や学び方を身に付けられるようよく工夫されている。

「大日本図書」：「内容の観点（5）」前の学年の教科書の縮小版を提示して既習の内容を振り返ったり、複数の考え方を提示したりして、既習事項を生かし思考力や表現力を育成する上でよく工夫されている。

「学校図書」：「内容の観点（2）」児童に身に付けてほしい用語を「ことば」として取り上げたり、一覧にまとめたりして表現力を高めるためによく工夫されている。

「教育出版」：「内容の観点（3）」学んだことを活用し、問題解決できるようよく配慮されている。

「啓林館」：「内容の観点（2）」「話し合い」の場面を各学年で意図的に取り上げ、言語活動やコミュニケーションを重視し、表現能力の育成を図るためによく配慮されている。「内容の観点（7）」基礎・基本の確認から発展的に考えるなど、無理なく応用力を伸ばせるようよく配慮されている。「組織・配列の観点

(3)」各学年に学習の進め方がまとめられており、児童が学び方や学習の見通しをもてるようによく工夫されている。

「日本文教出版」:「内容の観点(5)」 「解決型学習」の例を示し、思考力や表現力を育成できるようよく配慮されている。

これらの特色をふまえ、選定委員会で協議の結果、「啓林館」、「東京書籍」、「教育出版」の3社。とりわけ「啓林館」の教科用図書が、児童の関心を高め、問題解決学習を重視した内容構成になっており、発達段階に応じて主体的に学び、表現し、解決していくことが可能であると考え、本市の児童に最もふさわしいものとして推薦することとします。

和田委員 算数は、子どもたちにとって日常生活に最も応用しにくい、考えをあてはめにくい教科ではないかと私は思うのですが、新しい学習指導要領には「日常生活に活用しようとする態度を育てる」ことがあります。子どもが生活に役立つ力として関連付けられるような工夫について示してください。また、算数は、特に高学年になると個人差が大きくなる教科かと思います。それについて、教科用図書ではどのように対応しているのか、習熟度に応じた対応ができるようになっているのか示してください。

指導課長 日常生活での活用については、「啓林館」の2年生上巻108～109ページで、花壇のチューリップの色を調べて表に書くことや、子どもたちが興味関心を持つ動物園での出来事を題材として取り上げながら問題を作る等の工夫がなされています。他社も学習指導要領の改訂に伴って、同様の配慮をしています。個人差に応じた対応についてですが、いずれの教科書も学習した内容をもとに発展的な問題を用意しています。「東京書籍」の5年生上巻116ページ「算数の目で見よう」、「啓林館」の6年生上巻131ページ「もっと学びをいかそう」等、教科用図書の中に子どもの習熟度に応じた対応が配慮されています。

津田委員長 小学校でも高学年になると、いわゆる「算数嫌い」という児童が増えてきて、そのまま中学校～高等学校でも数学は苦手だということになってくると思います。「算数嫌い」となる児童は、いつ頃、どの単元で躓く等の傾向があるのでしょうか。それに対して教科用図書ではどのような対応、工夫がなされているのでしょうか。また、教員はどのような指導上の工夫をしているのでしょうか。



小坂指導主事 躓きについてですが、学習内容が難しくなってくる中学年以降増加してきます。今回の教科用図書は、授業でできなかった子どもが、自宅で自学自習できるような編成になっています。例として、「啓林館」の6年生上巻22ページですが、「たしかめ道場」という欄で、その問題がわからなかった場合、問題の右端に「○ページに戻る」というマークが付いており、自分できなかったところにもう一度戻って学習できるよう工夫されています。また、理解の進んだ児童には、132～133ページに「ステップ・ジャンプ」というページがあり、さらに興味関心を高め、学習を進めていける構成になっています。「東京書籍」でも、6年生上巻59ページに「仕上げの問題」があり、できない場合は「○ページに戻る」、理解できていれば、さらに発展的に勉強できるページへ飛ぶことができる表示があります。躓いた場合は元の所へ、学習が進んだ場合はさらに発展的に考えていけるように組織的に構成されています。現場の教員の対応ですが、学校では若い教員が増えており、校内研究では、特に思考力・表現力の向上に取り組んでいる学校が多くあります。「啓林館」の2年生上巻14、15ページに「みんなで話しあいましょう」として、学んだことを、発展的な問題の中でお互いに考えを伝えあったり、グループで学んだりといった現場のニーズに応じた時間が意識的に設けられています。また、各社とも「学び方」を定着させる工夫が教科用図書に掲載されています。「啓林館」では6年生上巻4、5ページに、どのような順序で算数の学習を進めていくかが示されています。6年生を例にとりましたが、2年生以上の各学年に同様の記載があります。また、「東京書籍」は、「啓林館」のようにまとまった表記ではありませんが、「まず自分で考えてみよう」、「まとめよう」、「確かめよう」といった学習の過程が吹き出しで記載されています。

津田委員長 先ず、「算数が嫌い」という意識を持たせないようにすることが重要と考えますので、そこに力を入れた指導がしやすい教科用図書であると良いと思います。

志村教育長 「啓林館」の6年生下巻83ページに「地球と算数」と題された欄がありますが、理科の分野の内容がかなり大きく、環境問題等を算数的な解釈で判断していくような内容が示されており、特徴的に感じます。この様な形でテーマを設定して考えていくことが、まさにPISA型の学力ではないかと思います。

他社で同様の記載があれば紹介してください。

小坂指導主事 地球規模の環境問題を大きく取り上げているのは「啓林館」の特徴で、他社については、先ほど例示した「東京書籍」の「算数の目で見よう」の欄で、ピーマンの出荷量を取り扱っているもの等があります。

和田委員 段階的に学んでいくためには、新しい単元に入る時に以前の単元を振り返ることが必要であると思います。「啓林館」は「準備運動」というコーナーが設けられており、1～2問ではありますが、次の単元に入る前の振り返りにスペースをとっていたり、「東京書籍」でも同様に、次の単元への準備のページをとるような工夫がありますが、総合的に、表、挿絵、写真等の見やすさ、補助的なPISA型学習につながるようなところ、習熟度に合わせた学習への対応等、様々な課題に対する段階的な取組みがなされている「啓林館」が使いやすいのではないかと思います。

梅谷委員 普通学級では知能的に境界域の子どもが在籍している場合もあり、個人差が大きいと思いますが、教科用図書を、児童の能力差、学習速度の差を踏まえた指導への対応の観点から比較するとどうなりますか。

小坂指導主事 「啓林館」では、各単元のページが理解できた児童は、「もっと練習」として、巻末の問題へ進む指示に沿って学習を進めることができます。また、単元ごとに「たしかめ道場」というまとめのページも設けられています。このように、理解の進んだ児童は教科用図書で学習を進めることができ、躓いた児童には、教員の指導を加える形で対応しています。

津田委員長 討論を終結し採択を行います。これまでの意見をまとめますと、平成23年度に本市立小学校で使用する「算数」の教科用図書には、「わくわく算数 株式会社 新興出版社啓林館」を採択することが適当と認めますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

津田委員長 異議ないようですので、平成23年度に、本市立小学校で使用する「算数」の教科用図書は、「わくわく算数 株式会社 新興出版社啓林館」と決定しました。

《理科》

指導課長 小学校理科について報告します。  
教育基本法の改正を受けて改訂された新しい学習指導要領で

は、理科の目標は「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。」と示されております。この「実感を伴った理解」とは、第一に具体的な体験を通して形づくられる理解であり、第二に主体的な問題解決を通して得られる理解、第三に実際の自然や生活との関連への認識を含む理解としています。理科を学ぶことの意義や有用性を実感し、理科学習への意欲や科学への関心を高めることにつながるものです。

平成20年度千葉市学力状況調査報告書によれば、千葉市の児童の学力は、全体的に達成規準を超えており、おおむね良好ですが、更に向上を図るとすれば、生物の成長にかかわる観察や実験の技能、太陽や雲の動きから規則性について考察する思考力等に課題があることが指摘されています。

以上のことを踏まえ、本市の学校教育の課題として示されている「自然を愛する心情を育てるとともに、仮説を立てて観察・実験を行い、その結果を分析・解釈し、まとめて発表するなど、科学的な思考力、表現力の育成に配慮されているか。」を視点として、問題解決の過程を重視した展開になっているか、学年で育てたい能力を明確にしているか等が、選定にあたり重視した観点です。

主な特色を発行者順に説明します。

「東京書籍」：「内容の観点（3）児童への適合」において、各単元末の「たしかめよう」等で、まとめを論述する活動を位置付け、思考力を育てるように工夫されている。

「大日本図書」：「内容の観点（2）」各学年巻頭の「理科の学び方」で、学年の育てたい力を明確にし、見通しを持った学習が進められるよう配慮されている。また、前の時間のまとめから次の問題へつながるような紙面を工夫しており、問題解決を通じた理解が図れるよう配慮されている。「造本の観点（2）」使いやすさの点で、家庭学習や野外での学習にも使用しやすいように、4年から6年は2分冊とし、持ち運びを容易にしているところが特色となっている。上下巻2冊を新学期に同時に供給し、単元の組み替えや学習の振り返りにも対応している。

「学校図書」：「内容の観点（3）」児童への適合で、実験の結果を表にまとめる方法を示し、児童が考察をしやすくする工夫

がされている。「造本の観点（１）」判型はＡＢ版で写真や資料を大きく掲載し、児童の興味関心を高めるように配慮されている。

「教育出版」：「内容の観点（３）」単元の導入に学習への動機づけを図る「まなびのとびら」を入れている。また、観察実験の方法を、写真や文章で丁寧に示す配慮がされている。「表現の観点（１）」３・４年生の教科書は、文字のポイントを大きくし、児童の発達段階に合わせた配慮がされている。

「信濃教育出版」：「内容の観点（２）」各学年の重点目標を巻頭ページで取り上げ、さらに学習の準備として、春に扱う素材の準備の仕方などを巻頭で示している。

「啓林館」：「内容の観点（６）」他教科との関連で、科学と仕事を結びつけることによってキャリア教育に関する内容を、「理科から仕事へ」で取り上げている。

これらを踏まえ、選定委員会での協議の結果、「大日本図書」、「教育出版」、「学校図書」が優れており、特に「大日本図書」が、科学的な思考力・表現力の育成に配慮され、問題解決の過程を重視した展開になっていることから、本市児童に最もふさわしいものとして推薦することとしたとの報告を受けています。

内山委員 理科の場合、先ず子どもたちが「なぜだろう」と疑問を抱く、関心を持つということが大切だと思います。その意味で、「大日本図書」は、６年生上巻１３ページでクエスチョンマークがつけられ「空気はどのような気体なのだろうか。どのようなものからできているのだろうか。」という問いであるのに対して、「教育出版」は、６年生９ページで「窒素・酸素・二酸化炭素のうち、どの気体にもものを燃やすはたらきがあるのだろうか。」となっており、児童への問いかけとして素朴なところからスタートしている「大日本図書」がより良いと思います。

和田委員 児童への問いかけということで似た意見なのですが、「大日本図書」は、それぞれの単元が一番初めに「〇〇を調べてみよう」という記載があり、子どもに対する問いかけ、問題提起が一番分かりやすく良いと思いました。また、教科用図書から受ける全体的な印象なのですが、理科はどうしても写真・図解・グラフが多くなりますが、「大日本図書」は説明文と図解のバランスがよく、見やすさといった点でも優れているように思います。

津田委員長 「大日本図書」は各学年の巻頭に「理科の学び方」として、学習の進め方を示すコーナーが設けられていますが、学年ごとの理科学習に入っていくやすくする効果があるように思います。

志村教育長 「大日本図書」だけは4年生以降2分冊となっていますが、児童と教員それぞれの側にどのような影響がありますか。

浅野主任指導主事 分冊になっている学年については、4月に2冊同時に配本され、児童は、先ず上巻1冊だけを持って登校することになります。植物、生物に関する単元で、教科用図書を外に持ち出して見比べて観察したり、調べたりする活動の時も、軽くて持ちやすいという利点があります。また、2冊同時配本することにより、単元を入れ替え、下巻の内容を先に学習することも可能であり、上巻終了後は、学校で上巻を保管することで、振り返って復習することも可能となるといった良さがあります。

津田委員長 討論を終結し採択を行います。これまでの意見をまとめますと、平成23年度に、本市立小学校で使用する「理科」の教科用図書には、「たのしい理科 大日本図書株式会社」を採択することが適当と認めますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

津田委員長 異議ないようですので、平成23年度に、本市立小学校で使用する「理科」の教科用図書は、「たのしい理科 大日本図書株式会社」と決定しました。

## 《音楽》

指導課長 小学校音楽科について報告します。

調査研究の観点の作成に際しては、以下の点を考慮しました。

新学習指導要領の音楽科の目標である「音楽を愛する心情と感性を育てること」、「音楽活動の基礎的な能力を培うこと」に照らして、内容が適切であるか。また、千葉県学校教育の課題（教科等の指導に関する課題）に明示されている「児童生徒一人一人が個性的・創造的な学習活動を展開できる」ための取り扱いになっているか。教材や学習内容が児童の発達段階や興味・関心、能力に適合しているか。行事や他教科等への広がり、補充的・発展的な学習内容への考慮がなされているか。これらに適合した教科用図書が求められています。

調査研究報告書に基づき、各社の教科用図書についてその特色を報告します。

「東京書籍」：「内容の観点（4）」日本の伝統音楽や諸外国の音楽については、わらべ歌や外国の遊び歌を活用して、遊びや

身体表現をしながら楽しく学習できる工夫がなされ、発達段階にあわせて親しみやすい教材を取り上げ、児童にとっても比較的平易な扱いで音楽的に深められるよう配慮されている。

「教育出版」:「組織・配列の観点(3)」学習のねらいや活動のポイントを「てんとう虫マーク」、学習の振り返りを「かえるさんマーク」、大切な音楽的要素を「はっぱマーク」で示すなど、児童が自分で学べるための工夫や、音楽の素となるポイントが明確に示してある。「内容の観点(5)」「音楽づくり」の視点から、音楽の構成や音楽的な要素に重点を置いた魅力的な活動が展開できるよう工夫されている。

「株式会社 教育芸術社(以下、「教育芸術社」という。):新指導要領に示されている各学年の目標や内容に沿った題材構成になっており、各題材のねらいが分かりやすく表現されている。

「内容の観点(3)」「拍とリズム」の学習では、基礎的・基本的な学習内容が無理なく着実に身につくよう配慮されている。

「内容の観点(6)」「物語と音楽」の学習では、物語から気持ちを感じ取って表現の仕方を工夫したり、「音楽をつくる」活動をしたりできるのも特徴の一つとなっている。「音遊び」や「音楽づくり」の学習を系統的に扱い、児童が無理なく学習が進められるよう、学習の手順が具体的に示されている。また、道徳を中心に使用している「心のノート」に出てくる「すてきな自分と出会う道」という詩をもとにした楽曲が掲載されており、道徳的な観点と関連させて指導できるように考慮されている。

これらの特色を踏まえ、選定委員会で協議の結果、「教育芸術社」、「教育出版社」の2社、とりわけ「教育芸術社」の教科用図書が、児童に無理なく、着実に学習が深められる点、また、様々な教材や音楽活動が掲載されており、楽しく音楽活動に取り組めるという点で本市の児童に最もふさわしいものとして推薦することとなりました。

和田委員 入学後、一番最初にリズムや拍をとることに目標を置くような指導内容になっているのではないかと考えていますが、小学校入学前から楽器を習っていて楽譜が読めたり、歌を歌うこと等も慣れている児童もいる中で、初めて教科として「音楽」に触れるにあたって、教科用図書として、そういった個人差に合わせた工夫がみられるところはありますか。

小高主任指導主事 「教育芸術社」1年生8ページに「さんぼ」という曲が載っ

ています。入学して最初の頃に扱う題材ですが、歌に合わせて手拍子を入れることが出てきています。その後もずっと見ていくと、1年生では、一貫してリズムと拍に関係して学習していく構成になっており、基本的な内容を学ぶためには良い教科用図書であるとの報告を受けています。

志村教育長 先ほど来話題になっていますが、「我が国の伝統や文化に関する教育の充実」の点で教科用図書が変わってきている点があると思いますが、それぞれの教科用図書の特徴的なところを示してください。

小高主任指導主事 日本の音楽ということで、「教育芸術社」4年生44ページから「日本の民謡をききましょう」、「教育出版社」4年生32ページから「おはなしや民ようを楽しもう」の単元が設けられています。同じ「ソーラン節」を扱っていますが、「教育出版社」は、おはやし等の写真が添えられており、指導内容がはっきり分かるようになっています。一方「教育芸術社」は、68ページに「郷土の民謡」として、日本地図上に写真がまとめであり、44ページでソーラン節について学んだ後、「日本中の民謡を調べてみよう」という活動につなげることができるような構成になっています。

和田委員 目次を見ると、「教育芸術社」は全ての単元が「〇〇してみよう」という呼びかけになっているので、児童が音楽に対して「やってみよう」という気持ちになりやすいのかなと感じました。また、内容とは関係ありませんが、他社と比べて「教育芸術社」の表紙の手触りが良いように感じました。

津田委員長 討論を終結し採択を行います。これまでの意見をまとめますと、平成23年度に、本市立小学校で使用する「音楽」の教科用図書には、「小学生の音楽 株式会社 教育芸術社」を採択することが適当と認めますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

津田委員長 異議ないようですので、平成23年度に、本市立小学校で使用する「音楽」の教科用図書は、「小学生の音楽 株式会社 教育芸術社」と決定しました。

## 《図画工作》

指導課長 小学校図画工作科について報告します。

調査研究の観点の作成に際しては、以下の点を考慮しました。  
教育基本法の改正を受けて改訂された新学習指導要領では、図画工作科の目標として、「表現及び鑑賞の活動を通して、感性

を働かせながら・・・」という一文が新たに加えられました。感性を働かせるとは、自分なりの感じ方やものの見方、直感的な判断力の育成を意味します。すなわち「生きる力」を育むことに繋がります。また、千葉市の図画工作科の教育課題として、自らの表現意図に沿った主体的な造形活動を一層重視するとあります。そのためには、感性を働かせ、自分なりの感じ方やものの見方を育成することが大切です。そこで、教科書では、様々な見方や感じ方を促し、「生きる力」となる資質や能力の育成に配慮されている教科書が求められています。

調査研究報告書に基づき、各社の教科用図書について、その特色を報告します。

「東京書籍」:「組織・配列の観点(1)」2学年合冊本にすることにより、弾力的な指導や活動で2学年の目標が達成できるように系統的・発展的に配列されている。

「開隆堂出版株式会社(以下、「開隆堂」という。):「内容の観点(1)」児童が様々な活動、作品に興味関心を持ち、イメージを大切にしながら造形活動に取り組めるよう考慮されている。

「内容の観点(6)」言語活動を促す発問や写真が工夫され、多くの題材が他教科と関連付けられている。「表現の観点(1)」新鮮な表現方法の提示により、興味関心を喚起し、造形活動への関心を高める工夫がされている。

「日本文教出版」:「内容の観点(2)」基礎的・基本的な知識・技能と学習の流れを明示し、個に応じた指導が図られるように配慮されている。「表現の観点(2)」作品例や活動の様子が広い紙面で紹介され、文字による情報量も豊富で、作品の説明が丁寧で作る際の手順がよく分かる。

これらの特色を踏まえ、選定委員会での協議の結果、「開隆堂」、「日本文教出版」の2社、とりわけ「開隆堂」は、表現や鑑賞の活動において、感性を十分働かせ、思いやイメージを広げていく内容に構成されており、本市の児童に最もふさわしいものとして推薦します。

和田委員 芸術分野の科目は、得手不得手が小さい時からあるのかなと思います。鑑賞することについては、生涯を通して楽しむことなので、鑑賞する力を小学校のうちから養っておくことは大切だと思います。先日、ある美術館で、普段美術館等に足を運んでいる風でもない若い女性のグループに会いましたが、「こ



の絵は教科書に載っていた、教科書で見た。」という言葉をよく聞きました。子どもの時に教科用図書で目にするものの影響は、非常に大きなものだと感じました。「鑑賞」の点から2者の比較を示してください。

小山指導主事 鑑賞については、どちらも力が入っており、名画といわれる作品の他、街角にある作品を鑑賞することも多くなっています。「開隆堂」の5・6年生上巻16、17ページで、屋上にある丸い作品、「日本文教出版」の5・6年生上巻22、23ページの、のこぎりのオブジェ等があげられます。

志村教育長 「開隆堂」は、「わくわくするね」や「ゆめを広げて」など、題字も含めて作品のような体裁で、他に比べて、やってみたいなどと思わせるようなつくりになっています。子どもの興味関心を喚起することや、多様な創作活動ができるという面で良い教科用図書だと思います。

和田委員 教育長の言われたことと似たようなことですが、「日本文教出版」は全体的に大人びたような体裁という印象を持ちました。「開隆堂」は、児童に「やってみよう」と思わせるつくりだという点で素晴らしいなと思いました。また、目次に單元ごとの主な用具・材料が示されています。実際その單元に進むときは、教員から用具等の指示はあるのですが、児童にとっては見やすい構成になっているのではないのでしょうか。

岩沼委員 どの教科用図書も写真が多く使っていますが、「開隆堂」のは明るくて楽しい感じがします。他社は写真の明るさという面では力が入っていない感じがします。

津田委員長 討論を終結し採択を行います。これまでの意見をまとめますと、平成23年度に、本市立小学校で使用する「図画工作」の教科用図書には、「図画工作 開隆堂出版株式会社」を採択することが適当と認めますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

津田委員長 異議ないようですので、平成23年度に、本市立小学校で使用する「図画工作」の教科用図書は、「図画工作 開隆堂出版株式会社」と決定しました。

## 《家庭科》

指導課長 小学校家庭科について報告します。

調査研究の観点の作成に際しては、以下の点を考慮しました。教育基本法等の改正を受けて改訂された新学習指導要領では、教科の目標として、「衣食住などに関する実践的・体験的な活動

を通して、日常的に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるとともに、家庭生活を大切にしようとする心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。」と示されています。

本市の児童の実態としては、家庭科の学習に対する興味・関心は高いものの、培った知識や技能を生活に生かすという主体的な態度については課題が見られます。そこで、「児童の発達の段階や興味・関心・能力に適合し、主体的に問題解決する能力・態度の育成に配慮されている教科用図書」が求められています。

調査研究報告書に基づき、各社の教科用図書についてその特色を報告します。

「東京書籍」:「内容の観点(4)」題材ごとに「日本の伝統コーナー」のコラムが設けられており、日本の伝統文化への理解を深め、関心を高めるよう、よく工夫されている。「組織・配列の観点(3)」見開きのページを使って、家庭科の基礎的スキルが「いつも確かめよう」としてわかりやすく示されており、よく工夫されている。

「開隆堂」:「内容の観点(3)」目次の題材配列に見られるように、2年間を見通した題材構成になっており、また、題材ごとに「調べよう」、「考えよう」、「話し合おう」、「やってみよう」などの投げかけを設け、児童が主体的に問題解決的な学習が進められるようによく配慮された構成になっている。「内容の観点(5)」表紙から1ページの見開きにかけて、ストーリー性のあるガイダンスが始まり、基礎的な内容から応用的内容へと段階的かつスパイラルに学べるような題材の構成が工夫されているとともに、2年間のまとめのところで、中学校とのつながりについてもよく配慮されている。「造本の観点(1)」重要語句は黒太文字で強調され、はっきりとわかりやすいことと、食品分類表が折り込みになっており、食の学習の際いつでも参照できるよう、よく工夫されている。

これらの特色を踏まえ、選定委員会で協議の結果、「開隆堂」、「東京書籍」、とりわけ「開隆堂」は、児童が見通しや目標をもちやすく工夫されており、主体的に問題解決的な学習を進めるための配慮がされていると考え、本市の児童に最もふさわしいものとして推薦します。

梅谷委員 どちらも、子どもが学んでいく「観点」のようなことで、「段

階」を設定していますが、「東京書籍」は「見つめよう」、「計画しよう・活動しよう」、「生活に生かそう」という流れ、「開隆堂」は「調べて」「考えて」「話し合っ」「試して」「生活に生かそう」という考え方で構成されていますが、指導する側としては、それぞれどのようなメリットがあるのでしょうか。

田島主任指導主事 どちらも問題解決的な、思考を促すような構成になっています。「東京書籍」は、ひとつひとつの題材が「見つめて～考えて～」という流れになっています。消費者教育の単元で比較すると、「東京書籍」の62ページでは、「学習の目当て」が示された後、文章の中で、大切な語句等が色を変えて表記されており、ここから問題を子どもたちに考えさせる構成になっています。一方、「開隆堂」の48ページでは、「考えよう」の欄で、「物やお金の使い方を振り返ってみよう」、「自分のノートの買い方を考えてみよう」等、課題が冒頭で示されています。これらを比較すると、「開隆堂」の方が、自分の生活の中から課題を見つけることがやりやすく、教科用図書の中で、単元の冒頭に問いかけが出ているので、それを使って子どもたちに「考えさせる」ということがやりやすいと考えます。

梅谷委員 課題を投げかけて、解決に向かわせるというのが「開隆堂」ということでしょうか。

田島主任指導主事 問題解決的な学習の流れのヒントを、教科用図書の中に散りばめてあるという構成です。

志村教育長 「開隆堂」の目次を見ると、「はじめてみようクッキング」、「わくわくミシン」等、今の子どもが興味をひくようなタイトル設定がうまいなと感じます。児童が、「家庭科」という教科に取り組んでいく上での楽しさが見られるように思います。

和田委員 本市の子どもたちは、主体的な態度について課題が見られるということでしたが、例えば「開隆堂」の84ページに「おべんとうをつくろう」ということで、2/3ページ程度を使って、彩りのよいお弁当の写真が載っています。「東京書籍」も103ページに載っていますが、写真のサイズとしては小さいものとなっています。本市の「お弁当の日」に、親子で作ることにつながったり、地域の公民館等でも盛んに講座等が開催されているようですが、そういったところにも生かしていけるかなと思いました。また、自分の言葉に対する感覚かもしれませんが、「東京書籍」の目次の冒頭に「家庭科大好き人間になろう」と

あります。「大好き人間」という言葉がどうしても違和感があります。今の子どもたちには慣れ親しんだ言い方かもしれませんが、教育長の言った「はじめてみようクッキング」「わくわくミシン」等とはまた違った意味で「大好き人間」という言葉に違和感を感じました。

内山委員 例えば「開隆堂」の72、73ページの「そうじをしてきれいにしよう」など、児童にとって身近な観点からきめ細かく作ってあるように思います。

津田委員長 討論を終結し採択を行います。これまでの意見をまとめますと、平成23年度に、本市立小学校で使用する「家庭」の教科用図書には、「小学校 わたしたちの家庭科 開隆堂出版株式会社」を採択することが適当と認めますが、よろしいでしょうか。  
(異議なし)

津田委員長 異議ないようですので、平成23年度に、本市立小学校で使用する「家庭」の教科用図書は、「小学校 わたしたちの家庭科 開隆堂出版株式会社」と決定しました。

#### 《保健体育》

指導課長 小学校保健について報告します。

調査研究の観点の作成に際しては、以下の点を考慮しました。  
教育基本法の改正等を受けて改訂された新学習指導要領では、体育科の目標として「心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる」と示しています。

本市の児童は、全国的な調査結果と比較すると、朝食を摂る子どもが多く、体力・運動能力の面でも多くの内容で上回っている現状にありますが、一部に規則正しい生活習慣が身に付いていない子どもも見られます。そこで、個々の児童が健康の大切さを認識し、実践へとつなげる内容になっている教科用図書が求められています。

調査研究報告書に基づき、各社の教科用図書についてその特色を報告します。

「東京書籍」:「内容の観点(5)」各章末に学習内容を振り返るページを設け、学習内容が確認できるようによく配慮された構成になっている。「内容の観点(6)」他教科や道徳等との関

連をわかりやすく示し、知識を相互に補完しながら健康の保持増進が図れるようによく工夫されている。「内容の観点（7）」健康教育に関して食育やいじめ等の今日的課題を取り上げたり、生きた知識が実生活で定着したりするように内容構成がよく工夫されている。

「大日本図書」：「表現の観点（1）」多くのキャラクターを使用したり、ゲームを取り入れたりすることにより、児童が親しみやすいようによく工夫されている。

「株式会社文教社（以下、「文教社」という。）」：「表現の観点（1）」文章は簡潔で分かりやすい表現で、未習漢字を使用する場合は、見開き2ページ単位でルビを振るなどよく配慮されている。

「株式会社光文書院（以下、「光文書院」という。）」：「内容の観点（7）」コーナーを設け、発展的な内容を扱い、学習活動に広がりを持たせるようによく工夫されている。

「株式会社学研教育みらい（以下、「学研教育みらい」という。）」：「内容の観点（7）」より深い興味・関心の学びに対応するために、学習内容に関連深い発展的な学習内容を設定するようによく工夫されている。「内容の観点（3）」児童の日常生活と密接に関連している内容や、今日的課題を積極的に取り上げようとよく配慮している。

これらの特色を踏まえ、選定委員会で協議の結果、「東京書籍」、「学研教育みらい」の2社、とりわけ「東京書籍」は、学習内容を振り返るページを設け、学習内容が確認できるような構成や、他教科や道徳との関連をわかりやすく示しており、個々の児童が健康の大切さを認識し、実践へとつなげていくことが可能であると考え、本市の児童に最もふさわしいものとして推薦します。

岩 沼 委 員 「心と体の成長」についての単元にある、男女の体のイラストの書き方が、出版社によって大きく差があるように感じます。着衣だけのところや、漫画的なイラストとなっているところ等ありますが、推薦された「東京書籍」はかなりリアルな感じで描かれているように思います。この年代の子どもたちは、それぞれが成長の過程であり、心も体も状態もまちまちで、ある子どもにはちょうどいいタイミングだが、ある子どもには早いといった幅がある中で「東京書籍」のかなりリアルなイラストで

いいというのはどういうことなのかなと思います。最近、インターネットや携帯電話の被害がありますが、危険な情報から遠ざけて、全く触れさせないで守っていく家庭がある一方、間違った情報が入る前に正確な情報を教えて、このような利点もあるが、このような問題もあるので、それはいけないことだとする家庭と、取組みが両極端に分かれるということがありますが、そのひとつに子どもの性情報というものもあると思います。そういった中で、選定委員会や教育委員会としてどの立場をとるのか明確にしなくてはいけないと思うのでそこのところを聞かせてください。

古山指導主事 「東京書籍」の20ページ「思春期にあらわれる変化」というところで、写真と裸のイラストを掲載をしています。この单元では、思春期には体つきに変化がおこり、男女の特徴が現れることを理解できるようにする必要があります。写真や裸のイラストがあることで、児童は視覚を通して、より具体的に男女の特徴を理解できるとの報告を受けています。「学研教育みらい」は16～19ページ、着衣のイラストになっていますが、イラストだけでは男女の特徴についての理解が難しいのではないかと報告を受けています。現在、本市で使用している「学研教育みらい」の教科用図書は、写真は無く、無着色の裸の男女のイラストが掲載されています。指導に際しては、1時間の授業の流れを実践例として、年間指導計画の中に示し指導しています。なお、この件について、これまで現場から指導しづらい等の意見がきたことはありません。

岩沼委員 指導に際して、単に正確なことだけを伝えればいいという学科ではないと思うので、デリケートな部分に配慮した指導の仕方が確立しているという理解でよろしいですか。

古山指導主事 体がこのように変化して、大人に近づいていっているということを、個人差が確実にあることを大事にしながら指導をしています。

津田委員長 「文教社」も小さいけれど「東京書籍」と同じようなイラストですね。個人差への配慮がしっかりとされていていけばよいのですが、たしかに「東京書籍」はリアルな感じがします。

志村教育長 ただいま、「学研教育みらい」について比較がなされましたが、従前の教科用図書をこのように変えたというのは、何らかの編集の意図を持って行ったはずだと思います。それならば、もう一社、

候補に挙がっている「東京書籍」についても、どのような工夫をされて今回の教科書になったのかを示していただき、それらを比較しなければ私たちは評価できません。一方だけをこのような形で比較するのは極めて不公平な資料提示だと思います。私たちは、23年度以降に使う教科書を採択しているわけですから、「東京書籍」についても現行版と来年度以降使用版を用意していただかないと評価できません。「東京書籍」の現行版はないのでしょうか。「学研教育みらい」がこのように変わっているのは、何らか編集上の意図、例えば、実際に学校で使ってみての意見等も加味して編集していると思うので、それをわかった上で評価しなければいけません。

学校教育部長　ただ今の指摘については、現行の指導の中では、今お示しした教科用図書を基に指導していますので、何らかのイラストが付いている教科用図書が採択されたとしても、今の指導の流れの中で特段、現場で混乱する等の支障はないということで受け止めていただきたいと思います。言葉で変化が示されていますが、それを、具体的に他の副教材等で指導していかなければなりません。これまでの指導の流れの中では、「東京書籍」のようなイラストでも特段の問題はないので、継続性の観点からも特に支障はないと考えています。

津田委員長　「東京書籍」については、全体的に分かりやすい編集がなされているように思っていました。イラストは確かにリアルな感じがします。

志村教育長　イラストの違いがある一方で、「学研教育みらい」は胎児についてもイラスト付きで触れています。「東京書籍」は取り上げていませんが、発展的内容と捉えたのか、3～4年生ではまだ早いと整理しているのか。どの辺まで教えるかということも難しい問題です。

和田委員　地域性といった部分もあるかもしれませんが、教科書だけで教えきれない部分についても、学校によっては先生が模造紙に大書きされたりということ、娘の授業参観で見ましたが、その辺も、ここまでは教えるべきといったガイドラインがあった方がいいのかなと思います。

岩沼委員　先ほどの副教材の件に関連してですが、教科用図書で足りないのなら、副教材もあるという風な、物のガイドラインが決まっていないのであれば、教科用図書で全部見えるようになった方

がガイドラインとして機能するのか、そのようなことも加わってくると思いますが。

志村教育長 「東京書籍」だと、副教材等として色々なものが載ってきてしまうかもしれません。それによって、教科用図書以上の内容に踏み込むことも考えられます。ボーダーラインが示されていないため、どこまで深くやるかというのは担任の考えによって変わってしまうという心配もあります。逆に「学研教育みらい」であれば、最低限ここまではやるというボーダーラインが明確になっていると言えるのではないのでしょうか。

和田委員 やはり子どもは文章の内容より、先ず写真やイラスト等に目がいってしまうものだと思います。この教科用図書は、3、4年生で使用するので、3年生になった時に児童に配られるわけですね。最後の方の単元なので、教わるのは4年生の後半かもしれませんが、手にするのは3年生のはじめということですね。

津田委員長 「東京書籍」の現行版はないとのことですが、イラストだけにこだわって言っているわけではないですが、見る人によって感じ方も違うということ念頭に置いて、指導の仕方にも十分留意していただきたいと思います。

志村教育長 指導する際は、教員用の指導書が付き、それに留意事項も入っていると思いますが、この件に関しては、保健体育課から指導の留意事項を学校へ別途配布するなりして、扱いによっては保護者の方等から、このような意見がでることもあるということ周知する必要があると考えています。

津田委員長 個人的な考えですが、他社でも同じようなイラストはありますし、これまでも使っていたとのことですので、今、教育長が言われたことに留意して指導にあたっただけであれば良いのではないかと思います。

津田委員長 討論を終結し、採択を行います。これまでの意見をまとめますと、平成23年度に、本市立小学校で使用する「保健」の教科用図書には、「新しい保健 東京書籍株式会社」を採択することが適当と認めますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

津田委員長 異議ないようですので、平成23年度に、本市立小学校で使用する「保健」の教科用図書は、「新しい保健 東京書籍株式会社」と決定しました。

津田委員長 以上で、平成23年度使用小学校用教科用図書9教科11種目について、採択が終了しました。確認しますと、国語「ひろ



がる言葉 小学国語 教育出版株式会社」、書写「小学書写 教育出版株式会社」社会「新しい社会 東京書籍株式会社」、地図「楽しく学ぶ 小学生の地図帳 株式会社 帝国書院」、算数「わくわく算数 株式会社 新興出版社啓林館」、理科「たのしい理科 大日本図書株式会社」、生活「たのしいせいかつ 大日本図書株式会社」、音楽「小学生の音楽 株式会社 教育芸術社」、図画工作「図画工作 開隆堂出版株式会社」、家庭「小学校 わたしたちの家庭科 開隆堂出版株式会社」、保健「新しい保健 東京書籍株式会社」、以上、よろしいでしょうか。(異議なし)

津田委員長 それでは、ただ今のとおり決定します。

議案第43号 平成23年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について

津田委員長 議案第43号「平成23年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について」、教育次長及び指導課長、説明をお願いします。

教育次長 議案43号「平成23年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について」ですが、選定作業の概要については、小学校用教科用図書と同様です。内容については、指導課長より説明します。

指導課長 本議案は、平成23年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について、千葉市教育委員会組織規則第8条第9号の規定により議決を求めるものです。

今回、採択をお願いする教科用図書は、議案書20～22ページにある「平成23年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書」に登載されている教科用図書で、本年度採択される教科書は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」により、平成23年度以降、使用されることになるものです。

選定結果を報告します。特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の教科書については、文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書の当該学年用を使用することが原則ではありますが、児童の実態により適切でない場合は、学校教育法附則第9条の規定により一般図書が選定することができます。

選定委員会では、専門調査員から以下の報告を受けました。

資料64～67ページの視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・

病弱者を教育する特別支援学校用教科書を使用する千葉市立の特別支援学校及び特別支援学級の児童生徒の該当者はありません。千葉市立の特別支援学校及び特別支援学級で学ぶ児童生徒の多くは、知的障害があります。70ページの観点に示すように、児童生徒の発達段階が多様であるため、できるだけ児童生徒の実態や学習課題に対応できることが必要です。そのため、文部科学省検定済教科書、文部科学省著作の特別支援学校用教科書と併せて学校教育法附則第9条の規定による一般図書を採択していただきたいと考えます。

学校教育法附則第9条の規定による教科用図書、合計76冊について報告します。

71、72ページの一覧表は、県教育委員会で採択された図書です。備考欄のアスタリスクは、今年度新規に採択されたものです。欄外の○は本市で昨年度から引き続き選定した図書、▲は今年度選定を取り止めた図書、◎は今年度新規に選定を希望する図書です。

「国語」については、県教育委員会から35冊示されましたが、そのうち22冊を選定しました。昨年度から継続して選定した図書は20冊です。指導の継続性や児童生徒に親しまれている図書が多いためです。新規に選定した図書は、今回、県教育委員会で選定された図書のうち2冊です。教科用図書調査研究報告書の76ページをご覧ください。1冊は、「もじのえほん あいうえお」です。選定の理由は、ことば遊びを通して文字に興味を持てるよう工夫されていることと、身近なものの絵とことば遊びの文が同時に楽しめることです。2冊目は、報告書の79ページ、「おしゃべりあいうえお はじめてのひらがな」です。絵と音の出るICボードで目と耳を使って学習できるよう工夫されています。昨年度まで選定していた「世界傑作絵本シリーズ 三びきのやぎの がらがらどん」については、選定しませんでした。理由は、文章表現の中に子どもにとって残酷と思われるような言葉が表記されているため、小学校の教科用図書としては活用しにくいからです。昨年度は「五味太郎・言葉図鑑5 つなぎのことば」と「レオ・レオニの絵本スイミー」を選定していましたが、今年度は県教育委員会で選定されていなかったため、本市でも選定しませんでした。

「算数・数学」については、県教育委員会から27冊が示さ

れましたが、そのうち17冊を選定しました。昨年度から継続して選定した図書は16冊です。指導の継続性や児童生徒に親しまれている図書が多いためです。新規に選定した図書は1冊です。報告書の81ページをご覧ください。「認識絵本5 いくつか」です。様々な数や遊びを取り上げ、大小・高低・長短等の比較概念や1から10までの数概念、数の合成・分解、時計、お金、算数の基礎となる力が身につくようになっています。また、食べ物や動物、日用品等が柔らかい色調で描かれており、興味・関心を引きやすくなるよう工夫されています。

「生活・社会」については、県教育委員会から27冊が示されましたが、そのうち18冊を選定しました。昨年度から継続して選定した図書は15冊です。指導の継続性や児童生徒に親しまれている図書が多いためです。新規に選定した図書は、今回県教育委員会で選定された図書のうち3冊です。教科用図書調査研究報告書の87ページをご覧ください。1冊目は、「シリーズ生活を学ぶ6 わたしたちのからだ」です。自立に向けて健康な生活を送るための具体的な内容が分かりやすく書かれていることと、日常生活の行動の振り返りが期待できその他でも幅広く活用できるよう工夫されています。2冊目は報告書89ページ、「リサイクル工作ずかん」です。身の回りにある材料を利用して簡単に作れそうな作品が多く載っていることと、小学校低学年から幅広く活用できることです。3冊目は91ページ、「あそびのおうさま図鑑1 からだ」です。文字とともに絵や写真を取り上げて説明しており、興味・関心を引きやすく工夫されています。また、昨年度は「あそびのひろば2 やさしいてづくりのプレゼント」を選定していましたが、今年度は県教育委員会で選定されていなかったため、本市でも選定しませんでした。

「職業・家庭」については、県教育委員会から18冊示されましたが、そのうち11冊を選定しました。昨年度から継続して選定した図書は10冊です。指導の継続性や児童生徒に親しまれている図書が多いためです。新規に選定した図書は、今回県教育委員会で選定された図書1冊です。報告書93ページの「楽しい工作教室 ダンボールの楽しい工作教室」です。ダンボールのできる工作が幅広く取り上げられており、生徒の興味を引くよう工夫されています。また、作品完成後に楽しく遊ぶこと

ができるようなものが多く掲載されています。

最後に「外国語」については、県教育委員会から9冊示されましたが、そのうち8冊を選定しました。昨年度から継続して選定した図書は8冊です。指導の継続性や児童生徒に親しまれている図書が多いためです。また、今年度、県教育委員会で選定された図書がなかったため、新規に選定した図書はありません。

梅谷委員 現在、特別支援学校・学級で、障害の重度化、重複化があり、障害が多様な状態になっており、ひとりひとりの子どもの実態にあわせた指導という観点からは、選定していただいた図書を全部採択してもいいくらいの状態です。研究報告書68ページ「知的障害者を教育する特別支援学校、小・中学校の特別支援学級用」のうち、文部科学省検定済教科書の欄について、内容、組織・配列、表現、造本とあり、それぞれマイナス面も含め、記載されていますが、これは市の選定委員会で、この様な評価をしたということで良いのでしょうか。

指導課長 県から示されたもので、本市で作成したものではありません。

福田指導主事 特別支援学校・学級については、検定済教科書か、文部科学省著作教科書か、一般図書を使うかの選択権があるわけですが、そのうち、文部科学省著作教科書は、障害の程度に応じて作られているものです。検定済教科書は、先ほど来採択していただいた教科用図書ですが、それを使用して指導することがふさわしくない児童生徒には、文部科学省著作教科書、それでもさらに特別な対応が必要な場合は一般図書と選択の幅があるものです。今回、文部科学省著作教科書も改訂になりましたが、本市には見本の一部しか届いていないため、県の報告書から転載したものです。

志村教育長 市内にある県立の特別支援学校は、本市の採択を待っているのですか。附則9条図書についての結果を待っているのか、それとも全体を待っているのでしょうか。

福田指導主事 基本的に、文部科学省検定済教科書と著作教科書については全て使えることになっており、附則9条図書についても、県の採択したものを使用できますが、千葉市の生徒が通学することから、本市の採択結果を待っています。

志村教育長 音が出る本もありますが、耐久性は問題ないのでしょうか。

野口指導主事 あくまでも担任が、その子どもにどのような本があっているか



